



令和7年3月26日

市政記者クラブ様

経済局イノベーション推進部次世代産業振興課  
担当：村田、吉村 電話：972-2419

## 研究開発型イノベーション創出支援事業「NAGOYA RESEARCH BRIDGE」 における連携プロジェクトの決定について

名古屋市では、**企業の新製品や新サービスのアイデアの具現化をサポートするため、大学・研究機関とのマッチング**を行うとともに、**開発に係る経費の一部を補助**する研究開発型イノベーション創出支援事業「NAGOYA RESEARCH BRIDGE (ナゴヤ・リサーチ・ブリッジ)」を**今年度より新たに実施**しています。

本事業は、それぞれの企業が抱える新製品や新サービスの開発課題を解決できるよう、「①最適な大学・研究機関を本市が探索」し、「②連携プロジェクトの創出までを本市が伴走的にサポート」することを特色としております。

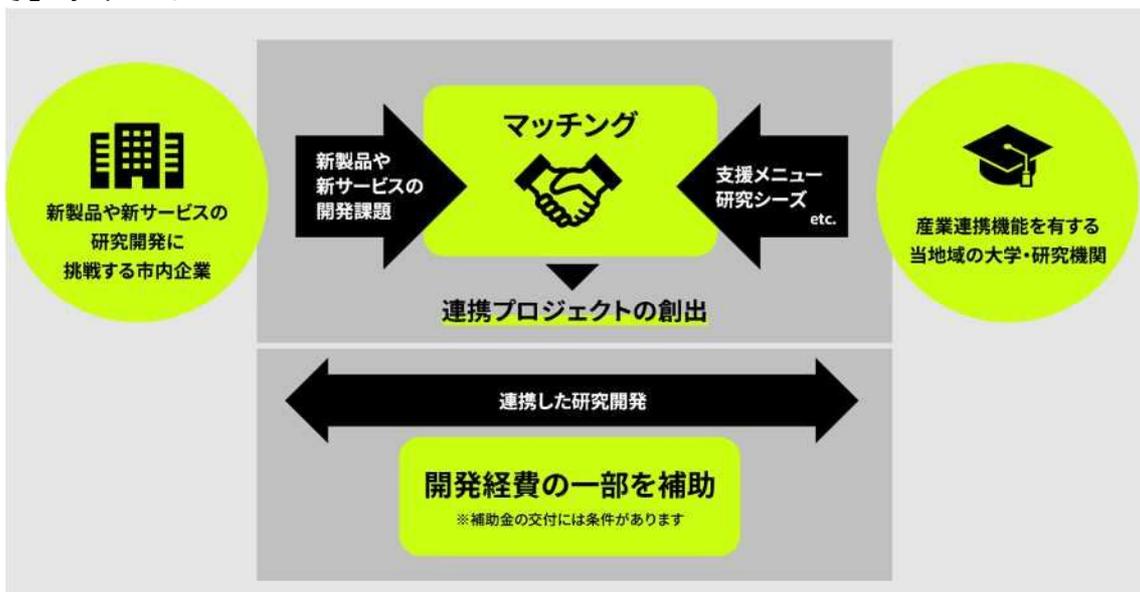
この度、下記のとおり**補助金交付の対象となる連携プロジェクトを決定**いたしましたので、お知らせします。

### 記

- 1 連携プロジェクト件数 11件（概要は別紙のとおり）
- 2 申込企業数 35社
- 3 協力機関数 18大学・研究機関
- 4 その他 事業の詳細については、ウェブサイトをご参照ください。  
(<https://nagoya-research-bridge.com>)



### 【参考】事業スキーム



※名古屋経済記者クラブに同時提供

## ■連携プロジェクト一覧

(企業名五十音順)

1	企 業	株式会社アイコン (名古屋市中村区)
	大学・研究機関	名古屋市立大学
	研究内容	<b>安全・最適な動きを支援する作業支援 AI の開発</b> 作業者の動きを数値化して AI により解析し、安全・最適な動きを支援するシステムの構築を目指します。
2	企 業	株式会社江口巖商店 (名古屋市南区)
	大学・研究機関	名古屋工業大学
	研究内容	<b>超薄膜・軽量の高断熱材料の開発</b> 中空粒子を活用した超薄膜・軽量の高断熱材料 (塗料) を開発します。
3	企 業	大冷工業株式会社 (名古屋市東区)
	大学・研究機関	名古屋大学
	研究内容	<b>ZEB 設備のシステム検証と開発</b> ZEB 設備の運用状況を測定し、個々のデータの関連性を調査して最適な運用方法を検証します。また、取得したデータを 3D デジタル空間で公開するための方法について検討します。
4	企 業	Tacle 株式会社 (名古屋市西区)
	大学・研究機関	名城大学
	研究内容	<b>多機能触覚センサ実用化のための画像解析ソフトウェア開発</b> 光学式触覚センサの国際公開特許技術の実用化を目指して、データ処理アルゴリズムのソフトウェア化を行います。
5	企 業	東海エレクトロニクス株式会社 (名古屋市中区)
	大学・研究機関	名古屋市立大学
	研究内容	<b>排泄センサの高精度化に関する研究</b> 自社開発したおむつセンサの精度を向上させるため、使用者の食事や生活環境がセンサのデータに与える影響について検討します。
6	企 業	株式会社八伸工業 (名古屋市天白区)
	大学・研究機関	名古屋市工業研究所
	研究内容	<b>照明技法を組み合わせた AI による外観検査ソリューションの開発</b> 人では判定しにくい加工面の微細なキズを照明技術により撮影可能にし、”教師あり良品学習 AI”による合否判定を行うアルミ切削部品の外観検査ソリューションを開発します。

7	企 業	林八百吉株式会社（名古屋市熱田区）
	大学・研究機関	愛知大学
	研究内容	<b>学生との SDGs 貢献商品の共同開発</b> Z 世代視点を取り入れた熱中症対策などの SDGs 貢献商品（帽子含む）を学生と共同開発します。
8	企 業	ピノベーション株式会社（名古屋市西区）
	大学・研究機関	名古屋市立大学
	研究内容	<b>介護現場の負担を減らす見守りカメラの開発</b> AI 機能を搭載した見守りカメラにより、プライバシーに配慮しながら介護現場の負担を下げるができるデバイスを開発します。
9	企 業	富士高分子工業株式会社（名古屋市中村区）
	大学・研究機関	名古屋市工業研究所
	研究内容	<b>真空熱物性測定装置の開発</b> 真空環境を利用し、大気への熱の漏れを防ぐことで高精度な測定が可能であり、かつ操作も容易な熱物性測定装置を開発します。
10	企 業	株式会社プロメテックスエナジー（名古屋市中区）
	大学・研究機関	豊田工業大学
	研究内容	<b>マルチエージェントシステムによる電力ネットワークの高効率分散制御</b> 持続可能な新エネルギープラットフォームをシミュレーションから始め、新しい電力システムについて検討します。
11	企 業	※令和 7 年 4 月以降に本事業ウェブサイト上で公表予定
	大学・研究機関	
	研究内容	<b>バリ取りを必要としない加工技術の開発</b> 金属部品加工のバリ取り工程をカットすることにより、省人化及び大幅なコストダウンを目指します。